

用語	予報円	暴風域	強風域	暴風警戒域	
よみ	よほうえん	ぼうふういき	きょうふういき	ぼうふうけいかい いき	
解説	予報円は、台風の中心が到達すると予想される範囲を破線の円で示す。この円内に台風の中心が入る確率は70%である。予報円の中心は12、24時間予報では0.1度単位で、48、72時間予報では0.5度単位で発表する。	台風や発達した低気圧の周辺で、風速が25m/s以上の風が吹いているか、吹く可能性のある領域。範囲は円で示すが、暴風の範囲が非対称の場合は大きい側と小さい側の2つの象限に分けて半径を示す。	台風や発達した低気圧の周辺で、風速が15m/s以上の風が吹いているか、吹く可能性のある領域。暴風域と同様な表現をする。	台風の中心が予報円内に入った場合に暴風域に入るおそれのある範囲のこと。つまり、予報円に予想される暴風域の半径を加えた半径の円となっている。	
	<div style="text-align: center;"> <p><b>台風予報図表示例</b></p> </div>				
用例 (主に活用される場面)	<p>半径200kmの暴風域をもって北上しています。</p> <p>29日夕方には奄美地方全域で強風域に入り、29日朝のうちには奄美地方が風速25m/s以上の暴風域に入るおそれがあります。</p>				
関連用語・類似用語	<p>風速</p>				
注意すべきポイント (防災上の注意すべき点)	予報円は予報時間が長くなると大きくなる傾向がある。24時間予報を利用する場合と48時間予報や72時間予報を利用する場合では、精度を考慮する。台風の中心位置の近年の平均的な予報誤差は、24時間予報で130km前後、48時間予報で230km前後、72時間予報で360km前後である。	暴風域(強風域)は暴風(強風)のふく可能性のある範囲をふくめているので、域内の全ての地点で暴風(強風)が吹く訳ではない。しかし、暴風域(強風域)内はそうでないところと比べると、たとえ平均風速は弱くても激しい突風の起こる恐れもあるので注意が必要である。		48時間予報や72時間予報にも暴風警戒域を示すが、大きな円(広範囲)になることが多い。進路予報の精度と強度予報の精度にかかっているので今後の対策の参考にする。暴風域を伴わないと予想される場合は暴風警戒域はつけない。	